

第 113 回サイエンス・カフェ札幌 | オンライン

「みんなで考える持続可能なパートナーシップ ～NEW NORMAL における研究と地域～」を開催

これからの北海道を研究と地域で考えよう！

【概 要】

NEW NORMAL と言われる時代において、北海道の交通、観光はどうなっていくのか。地域の様々な課題、そして未来像について研究者とともに考えるサイエンス・カフェをオンラインで配信します。

【趣 旨】

日本の多くの地域と同様、北海道でも少子高齢化の進行や環境問題の深刻化など、持続可能な地域づくりは大きな課題になっています。地域の将来を創っていくという活動は、一つの単純な解決策があるわけではなく、技術、仕組み、考え方といったハード面、ソフト面が複雑に絡み合っています。これから未来の技術を開発する科学技術研究においても、地域の多様なステークホルダーとのパートナーシップが必要不可欠です。歴史をたどると札幌農学校 2 期生の新渡戸稲造は、有名な「武士道」の執筆と同時期に、農村を対象とする学問として「地方学（ぢかたがく）」を提唱しました。北大は伝統的に地域とのパートナーシップを重視する精神を持っているといえます。

今回のサイエンス・カフェでは、新型コロナウイルス流行の以前から地域の中に入って、現地の人々とのパートナーシップを築いて研究活動を行ってきた 2 名の研究者をゲストにお招きします。北海道大学大学院工学研究院の岸 邦宏准教授からは「交通とコミュニティ」の視点、北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院の上田裕文准教授からは「景観と観光」の視点で、地域の中に研究者が入る意義や、コロナの前後での変化、今後の展望について話してもらいます。そのうえで、NEW NORMAL と言われる時代における地方学の精神、そして科学技術と地域の「持続可能なコラボレーション」のあり方を、参加者の皆さんと意見交換をしながら考えていきます。



景観を研究する
上田准教授



交通を研究する
岸准教授

【タイトル】 第 113 回サイエンス・カフェ札幌 | オンライン @SCARTS

「みんなで考える持続可能なパートナーシップ～NEW NORMAL における研究と地域～」

【日 程】 2020 年 10 月 19 日（月）18:30～20:00

【場 所】 ※新型コロナウイルス感染症の流行に鑑みて、オンラインでの開催となります

【参加方法】 以下の URL よりご参加ください

<https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/costep/contents/article/2211/>

【ゲ ス ト】 岸 邦宏氏（北海道大学大学院工学研究院 准教授）

上田裕文氏（北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院 准教授）

- 【聞き手】** 西尾直樹氏（北海道大学 CoSTEP 特任助教）
- 【主催】** 北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター
科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）
- 【対象】** 一般市民（特にご家庭をお持ちの方，教育に関心のある方）
- 【参加費】** 無料
- 【言語】** 日本語（同時通訳なし）
- 【申込方法】** 事前申し込み不要

お問い合わせ先

北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター科学技術コミュニケーション
教育研究部門（CoSTEP） 担当 奥本素子（おくもともとこ）

T E L 011-706-5320 F A X 011-706-5320 メール okumoto@open-ed.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimuhokudai.ac.jp